



オンライン授業と家庭学習

インフルエンザのため、3年1組はオンライン授業でした。
今回は、オンライン授業をしている中で気づいたことから、家庭学習にも生かせることをお伝えいたします。

①学習方略が身につけている活動は容易にできる

例えば漢字の反復練習や計算などはとても取り組みやすい内容です。穴埋め式や選択式の問題も、一緒に答え合わせをしたり答えを確認できるようにしたりすれば取り組むことができます。

「～にあるのでそれを見て紙に練習しましょう」という簡単な指示でも取り組めたので、家庭で子どもが一人で行う際の学習としてもやりやすいでしょう。

学習方略が身につけば、家庭で子どもが一人でできる学習も広がっていくので、まずはできることから家庭学習に取り組み、学習習慣を定着させていきましょう。

②理解度、達成度が把握しづらい

教室とは違って子どもの手元が見えないので、だれが何をしているのか、どこまでできているのか、ちゃんと理解できているのかを把握するのがとても難しかったです。

オンラインでは、新しい内容をみんなで学習して、しっかりと習得する活動にやりづらさを感じました。逆に新しく知ったことを基に表現する活動は自由度が高くやりやすかったです。

このことから家庭では、新規の内容は理解度をおうちの人が見てあげること、表現系の活動などは思う存分に楽しめるように時間を確保してあげることが大切だなと感じました。

③学習環境の重要性

顔を上げればテレビやホワイトボードに必要な情報があり、手元では教科書の文章を読みながらノートに自分の考えを書ける。周りを見れば友達は何をしているかすぐ分かる。分からないことは先生や友達に聞ける。先生が自分を見て、褒めてくれたりアドバイスをくれたりする。

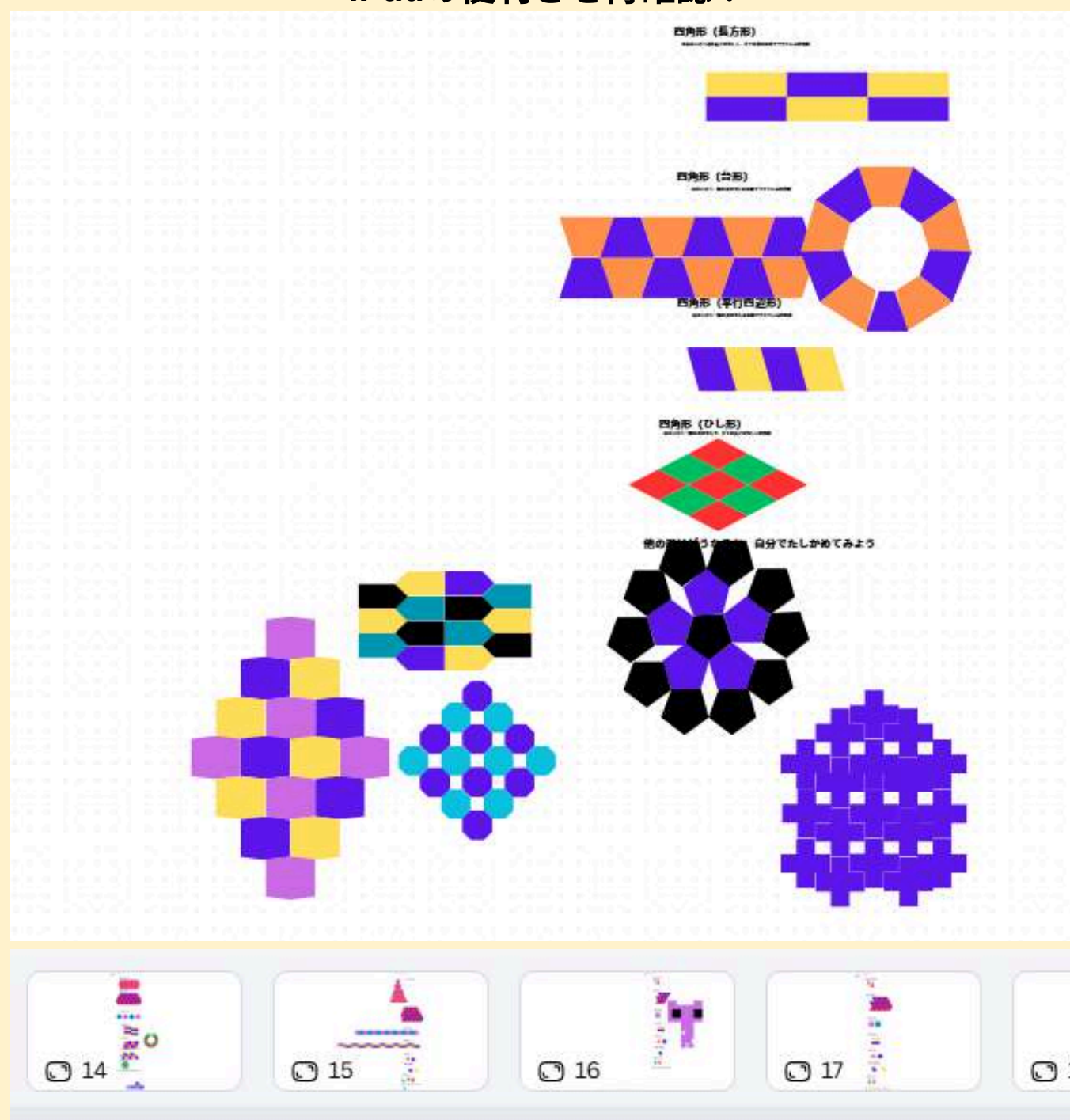
オンライン授業では、上に書いた全てが小さなiPadの画面一つに収まっています。普段の教室が学習環境として充実しているんだと改めて実感しました。

今回のオンライン授業では、少しでも環境を整えるため、友達がどんなことをしているか分かるようにCanvaの共同編集機能を利用する、iPadを情報収集用/表現用と使い分ける、できるだけ一人一人の名前を呼びながら肯定的なフィードバックをすることを心がけました。

やってみて、特に授業の中で顔を見て一人一人に声かけすることがとても重要なことが分かり、家庭での学習も、おうちの人そばにいて、肯定的な声かけをするだけでも、ものすごく集中力や成果が高まるのだろうなと感じました。（がみがみ言うとなんか嫌がられてしまいますが・・・）

家庭学習での大人の立ち位置は、「1，2年生は隣に座って一緒に取り組む。3，4年生は机のそばで学習を見守る。5，6年生は、同じ空間で過ごす」のがよいそうです。成長に合わせて、子どもが一番集中できる学習環境を整えていきましょう。

iPadの便利さを再確認！



今後学習する予定の算数「三角形」につながる活動として、Canvaで図形の敷き詰めをしました。

ICT機器は複製がとても簡単でいいですね。ページも無限に広がっているので、どこまでも敷き詰められます。

iPadが支給される前は、印刷したものをがんばって切って敷き詰めていました。切るのは大変だし、机から落ちまくるし、色んな形でやろうとすると印刷も切るのも大変になるし・・・iPadの便利さを改めて感じました。

また、やってみて三角形や四角形、正六角形以外にも、いくつかの五角形や六角形で敷き詰めができることを知り、私も勉強になりました。

在宅だからこそできることを考えて



本の題名：宇宙人がいた

おもしろさの視点
・登場人物の設定
泣いた事がない宇宙人名前は、コスモ
何も知らないけんたろうくん
・場所
けんたろうくん家
面白い所
泣いた事がなかったのに泣いてしまった所
宇宙人が家にいた所
・お話
ある日家に帰ると宇宙人がいた。その宇宙
人の名前はコスモだ。コスモは宇宙船が壊
れ留まっていたのだった。コスモは、泣い
た事がなかったけれど何かしらの事件でコ
スモは泣いてしまった。この本は、道徳の
ように私は優しさが関係している気がしま
す
・結末
無事、宇宙に帰れたコスモ



エンジンをつけたほうき



本の題名：きりのもりのもりのおく

おもしろさの視点
・薄い紙の設定
・登場人物の設定
・ダジャレ



ダジャレのアリス



後ろのページが見える



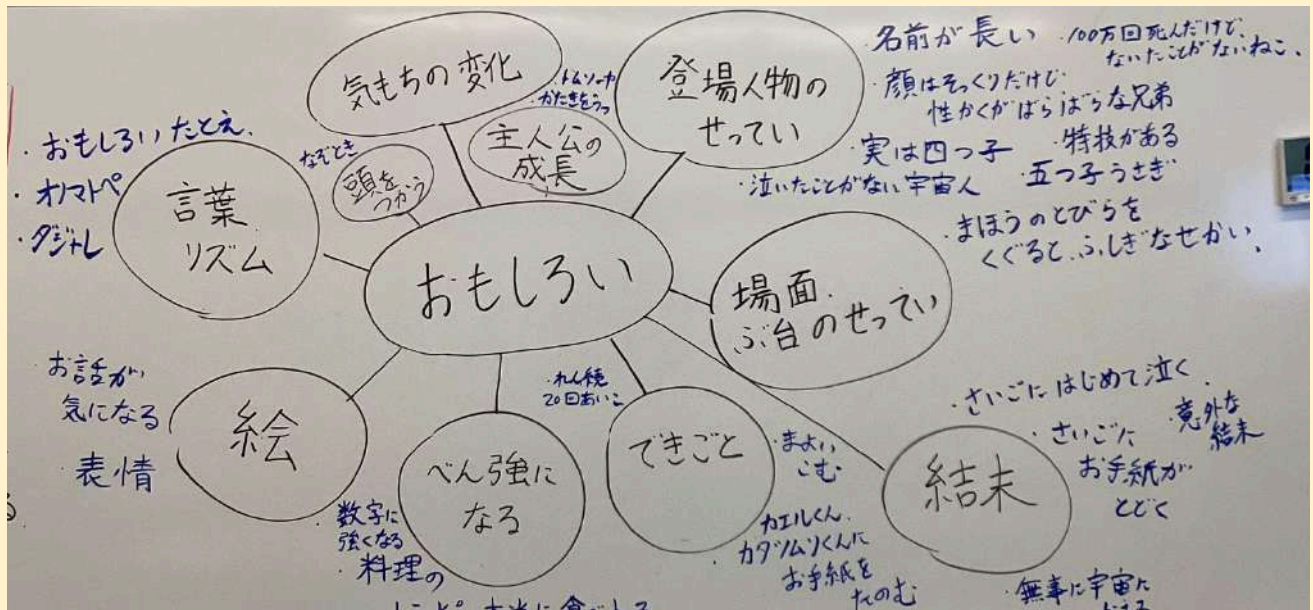
国語科の「三年とうげ」では、お話のおもしろさを考え、それを紹介することを目標に学習をしています。

減多にないオンライン授業なので、家にいるからこそできる活動を考え、「家の中の本からおもしろさの視点を見つけよう」という活動をしました。

自分の家の本ならすぐに手に取れ、おもしろいところもを見つけやすいだろうと考えました。これをきっかけにお気に入りの本を改めて読み直したり、そのおもしろさの理由を考えてくれたりしたらいいなとも思いました。

やってみると、みんなとても意欲的に取り組んでいて、「うちは家に本がいっぱいあるんだー!」「この話、小さい時から好きだった!」「〇〇ちゃんと同じ本うちにもある!」など、たくさん本の話ができて、とても楽しかったです。

以下がみんなが見つけたおもしろさの視点を教室でまとめたものですが、想像以上にたくさん見つかって驚きました。



三日間でオンライン授業の難しさとともに、よい部分や楽しい部分も感じましたが、やっぱりみんながそろっている教室が恋しいです。みなさまくれぐれもお体に気を付けてください。

来週、学校で子どもたちの元気な姿が見られるのを楽しみにしています。

また、今回の授業は、1組のオンライン授業用に考えたものですが、よかった部分は2組、3組にも伝えていきます。今後ともよろしくお願いいたします